

道路技術小委員会 土工分野会議 座長報告

◇ 昨今の変化する外力を踏まえた「点検すべき新たな災害リスク」や技術の進展も踏まえた「災害リスク箇所のマネジメントのあり方」について、土工分野会議において、専門的見地から検討したので、その状況を報告する。

◇ 土工分野会議の論点として、

- ① 最近の被災事例などから豪雨について、災害リスク箇所を抽出するための方法
- ② 三次元点群データを活用した道路斜面リスク箇所の抽出要領(案)の策定などについて、審議を行ってきた。

◇ これらの検討事項について、土工分野会議では、以下のような意見があった。

【土工分野会議における主な意見】

① 最近の被災事例などから豪雨について、災害リスク箇所を抽出するための方法

- ・H8 やH18の防災点検の際のスクリーニングでは技術者の恣意性が働く場合もあったことから、今回の調査にあたっては、あいまいな判断が入らないようスクリーニングの方法を厳密にしていきたい。
- ・土砂警戒危険区域外としているところでは人家等守るべき施設が無いとのことから外しており、そういったところについても道路が途絶しないために、それらをカバーするLP調査で拾い上げられるようにしてほしい。
- ・対策の範囲を決める際に、横断方向だけでなく、縦断方向にも配慮が必要。

→**具体的内容については、「1)昨今の防災減災の取組み」について説明**

② 三次元点群データを活用した道路斜面リスク箇所の抽出要領(案)の策定

- ・現在あるデータを活用することも重要であるが、点検の効率化の公募による三次元点群データに関する技術の活用を考えておくべき。
- ・対象区間など、現場に理解しやすいよう、例示を示すなど分かりやすい内容にしていきたい。また、「岩盤クリープ」など新たに判読できる地形も出てきているので最新のものにバージョンアップした方がよい。
- ・対象区間を選定する際、一般的な資料が列挙されているが、その他に土砂災害基礎調査なども活用できるので、収集できるよう記載した方がよい。

◇ 以上の意見を踏まえ、「三次元点群データを活用した道路斜面リスク箇所の抽出要領(案)」を議題とした。

◇ 今後、三次元点群データの活用について、継続して取り組むべき課題として、以下のような意見があった。

- ・点群データの管理及び更新頻度などデータ管理方法について検討していくべき。
- ・今回の点群データだけでなく、同じようなデータについて省庁横断的に活用できるようにデータのオープン化をお願いしたい。

道路技術小委員会 道路土工構造物分野会議

【有識者】

◎ 常田 賢一 大阪大学大学院 名誉教授

◎座長

笹原 克夫 高知大学 教育研究部 自然科学系農学部門 教授

【実務委員】

酒井 亮太 気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課 防災気象官

中谷 洋明 国総研 土砂災害研究部 土砂災害研究室長

辻井 伸治 奈良県 県土マネジメント部 道路保全課 主幹

中原 伴章 三重県三重郡菰野町 都市整備課 工務係長

山田 直樹 新潟県十日町市 建設部 建設課長

竹本 将 (株)高速道路総合技術研究所 道路研究部

斜面防災研究担当部長

岩切 昭義 日本測量調査技術協会((株)パスコ)

上野 将司 全国地質調査業協会連合会((株)応用地質)

大粒来茂樹 建設コンサルタンツ協会(国際航業(株))

大崎 義保 国土交通省中部地方整備局 道路部道路管理課 課長補佐

【審議状況】

第 9回 令和2年 9月17日

第10回 令和2年10月30日

第11回 令和3年 6月28日

第12回 令和3年 9月 8日